



学校便り

校長 藤吉 ひとみ

TEL 233-6451

野外教育活動を終えて



6月2日(月)・3日(火)・4日(水)の2泊3日で5年生が御殿場の東山荘にて野外教育活動(エンジョイ・フジキャン)を行いました。初めての場所、初めての体験、不安はありましたが、子ども達一人ひとり、自分の役割を果たし、充実した活動ができました。2日目のキャンプファイヤーも大いに盛りあがりました。おいしい食事もたくさんいただきました。

自然いっぱいの富士山の裾野での貴重な活動を通して、「協力すること」「助け合うこと」の素晴らしさを体験・体感したことと思います。



寒沢の源流を訪ねよう



チームビルディングゲーム

なかよし集会

6月13日(金)

6月13日になかよし集会を行いました。子どもたちは、たてわりの仲間と仲良く協力しながら工夫を凝らしたゲームを考えてお店を出し、なかよし班で楽しく活動しました。その中でも、6年生は班長や店長として、みんなが楽しめるように一生懸命下級生を引っ張り、最高学年としてとても頼もしかったです。この出会いを大切にして、なかよし集会で得たことを今後の生活でも活かしてほしいと思っています。

児童会担当



もぐらたたき



コイン落とし

学校評議員さん



*今年度もお世話になります。よろしくお願いいたします。

校内研究の取り組み



杉本小学校では、「互いに考えを伝え合い、高め合う子の育成」をテーマとして校内研究に取り組んでいます。研究の中心になっている教科は、昨年に引き続き算数です。

算数について、子ども達にアンケートをとった結果、「計算は好きですか」という質問に「好き」「どちらかというが好き」と答える児童が、どの学年も3分の2程度いるのに比べ、「自分の考えを説明することは好きですか」という質問に対しては、肯定的な回答が3分の1程度に留まる学年もありました。

確かに算数において「できる」(=正しい答えが出せる)ということはとても大事ですが、それとともに「わかる」(=そう考えた根拠を説明できる)ことも大切にしたいというのが私たち教師の考えです。

先日実施された6年生の研究授業では、分数のわり算の計算方法を子ども達が考えていました。「分数のわり算は、割る数を逆数にしてかける。」という計算の仕方は知っているけれども、なぜそれでよいのかを説明することは、大人でも難しいかもしれません。子ども達は、それを数直線や、面積図を使って、自分なりに考え、伝え合っていました。そして、自分一人では思いつかなかったような発想や方法を知り、見方が広がったり、新しいことに気づいたりしていました。

教師が、始めから“決まっていること”として教えていくのではなく、子ども達が、お互いの考えを出し合い、模索しながら「なぜそうなるのか」という根拠に気づき、よりよい解決方法を身につけていくこと。そして、そのための表現力や話を聞く力といったコミュニケーション力を高めていくことが、わたしたちの願いです。

「先生の話聞くだけの授業よりも、みんなの考えを聞いて話し合う授業の方が楽しい。」——子ども達にそう思ってもらえたら、うれしいです。

校内研究推進部長

